

問題集 平成 28 年度重点問題集

下記の問題は全て、いずれかに○を付けて教えてください。

問 1

【評価軸】

要介護認定の基本調査項目の3つの評価軸として誤っているものはどれですか。

答え

	身体機能
	介助の方法
	有無

問 2

【評価軸】

正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

「移動」「えん下」「食事摂取」「外出頻度」など『2群』はすべて介助の方法で評価する項目である。

答え

	○
	×

問 3

【評価軸】

次のうち、評価軸の解釈に基づいた調査で正しいものはどれですか。

答え

	「能力」で評価を行う基本調査項目は「できる」か「できない」かを中心に調査を行うことが重要である
	「介助の方法」で評価を行う基本調査項目は、具体的に介助が「行われている－行われていない」かを中心に調査を行い、その介助の適切・不適切について判断してはならない
	BPSD関連の「有無」で評価を行う基本調査項目は「日常生活上の支障が発生している」か「発生していない」かを中心に調査を行うことが重要である

問 4

【有無（BPSD 関連）】正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

BPSD 関連の基本調査項目の選択肢の選択では、行動が発生しているかどうかで選択し、介護の手間が発生しているかどうかでは選択しない。

答え

	○
	×

問 5

【有無（過去 14 日間にうけた特別な医療）】

特別な医療について、正しいのはどれですか。

答え

	継続して実施されているもののみを対象としている
	医師の指示が過去 14 日以内に行われているものに限定される
	調査対象者や家族、介護者から情報を得る以外にも医療機関などから情報を聞くことも必要である

問 6

【1-3 寝返り】

下半身の麻痺があり、上半身だけならば何にもつかまらないうで自力で寝返りができる場合、基本調査はどれを選択しますか。

答え

	つかまらないうでできる
	何かにつかまればできる
	できない

問 7

【1-4 起き上がり】

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

調査時も日頃も、ベッド柵につかまれば自力で「起き上がり」できるが、日頃は家族が起き上がりの介助をしている。

答え

	何かにつかまればできる
	できない

問 8

【1-5 座位保持】

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

背もたれがない状態での座位の状態を 10 分程度保持できる能力は確認でき、日頃の能力も同様である。ただし、いつもは居間で背もたれやクッションに寄り掛かりくつろいでいる。

答え

	できる
	支えてもらえればできる

問 9

【2-3 えん下】

固形物か液体かによってえん下の能力が異なる場合の選択方法について、正しいものはどれですか。

答え

	液体は食物に含まないので、固形物のえん下能力で選択する
	固形物か液体のいずれか一方でもできなければ、「できない」を選択する
	一定期間（調査日より概ね1週間）の状況において、より頻回な状況で選択する

問 10

【3-4 短期記憶】

面接調査の直前に何をしていたか思い出すことの確認が難しい場合に行う、「ペン」「時計」「視力確認表」を使った短期記憶の確認について、適切なものはどれですか。

答え

	見えないところにしまって5分以上してから2つ答えられるかを確認する
	見えないところにしまって5分以上してから3つすべてを答えられるかを確認する
	見えないところにしまって5分以上してから2つを提示し、提示されていないものについて、答えられるかを確認する

問 11

【2-1 移乗】

正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

本人に移乗の身体能力があるにも関わらず、介助が行われている場合は、「常に」不適切な状況と判断して適切な介助の方法を選択する。

答え

	○
	×

問 12

【2-2 移動】

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

居室の隣にあるトイレまでの移動（5回程度/日）など、通常は介助なしで行っているが、居室から離れた食堂（3回/日）及び浴室（週2回）への車いすでの移動は全介助となる。（ただし、不適切な状況にはないものとします。）

答え

	介助されていない
	一部介助
	全介助

問 13**【2-2 移動】**

「移動」について、正しいのはどれですか。

答え

	常時の付き添いの必要がある見守りが行われているため「一部介助」を選択する
	車いすへの移乗に一部介助が行われているので移動も「一部介助」を選択する
	外出行為について、移動の基本調査項目の選択では評価しないが、介助が行われているため特記事項に記載する

問 14**【2-8 洗顔】**

次のうち、洗顔の介助として評価されるものはどれですか。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

答え

	洗面所への誘導
	洗面所周辺の掃除
	衣服の濡れの確認

問 15**【5-1 薬の内服】**

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

介護者があらかじめ分包しておくと、自分で薬、水を用意して飲んでいる。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

答え

	介助されていない
	一部介助
	全介助

問 16**【1-1 麻痺等の有無】**

右下肢が欠損して確認動作が行えない場合、基本調査ではどれを選択しますか。

答え

	「右下肢」を選択する
	「右下肢」と「その他」を選択する
	「その他」を選択する

問 17**【1-1 麻痺等の有無】**

() に当てはまる言葉を選んでください。

軽度の可動域制限がある場合は、()。

答え

	関節の動く範囲で確認動作を行う
	「麻痺あり」とし、該当する部位を選択する
	「その他」を選択する

問 18**【1-2 拘縮の有無】**

() に当てはまる言葉を選んでください。

「股関節」は、() に可動域制限がある場合を「制限あり」とする。

答え

	屈曲（45 度程度）または外転（15cm 程度）のいずれか
	屈曲（90 度程度）または外転（15cm 程度）のいずれか
	屈曲（90 度程度）または外転（25cm 程度）のいずれか

問 19**【4-4 昼夜逆転】**

() に当てはまる言葉を選んでください。

夜間に何度も目覚めることがあり、そのために疲労や眠気があり活動できない、() 昼と夜の生活が逆転し、通常、日中行われる行為を夜間行っているなどの状況をいう。

答え

	もしくは
	かつ

問 20**【4-13 独り言・独り笑い】**

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

場面や状況とは無関係に、明らかに周囲の状況に合致していないにもかかわらず、独り言を言い続けることが週 1 回ほどある。家族は今のところ、なにも対応していない。

答え

	「ある」を選択し、特記事項に家族の対応状況を記載する
	「ときどきある」を選択し、特記事項に家族の対応状況を記載する
	「ない」を選択し、特記事項に家族の対応状況を記載する